

# 令和 4 年度（2022 年度）事業報告書

特定非営利活動法人 文化日独コミュニティー

## 1 事業の成果

感染症の流行が収まらず、今年度も前半は全く計画を実施できなかった。後半にやや収まる兆しが見えたが、冬に入ると更に大きな流行となった。新年会は規模を縮小し感染症対策を徹底し、3年ぶりに対面で開催した。その他の事業については当年度もほとんど実施に至らなかった。

### （1）日独両国に関わる知識の習得と講演会

ドイツの文化・芸術・歴史に関わる学習の機会を持つ。

特に今年度はドイツ児童文学に焦点を当て、白百合女子大学教授・間宮史子先生による講演会を江東区文化センターにて開催した。演題は「グリム童話の魅力」。

同時にオンラインによる参加も取り入れた。

### （2）ドイツ文化・日本文化の紹介を通じた日独交流

①引き続き東京横浜独逸学園の学園祭「オクトーバーフェスト」に参加し、日本文化・折り紙（初めての取り組み）を紹介する予定であったが、外部団体は参加できなかった。

②ドイツ菓子、ドイツ人向け和菓子の講習会のオンラインによる開催を計画したが、講師の都合がつかなかった。

### （3）ドイツ音楽演奏会、展示会等への後援

当会の趣旨に賛同する公演「」を支援した。

### （4）懇親行事（コロナ感染症終息後）

①新年会：プログラムとして、新会員になられたコントラバス奏者の演奏会を企画した。

②クリスマス会：第 8 波の流行のため、実施できなかった。

③シュタムティシュ（会員懇談会）：10月29日 土曜日に 1 回のみ実施した。

### （5）ドイツへの体験留学者の派遣（コロナ感染症終息後）

2022 年 2 月以降 ウクライナへの軍事進攻が続いていることと、コロナ禍が続いているため派遣は見合わせた。

### （6）広報活動の充実

①JGCC のホームページ充実を図り、広報活動を積極的に行えるような体制は不十分な状態。

②英語版のホームページについては、進んでいない。

### （7）会員基盤の増強

①各事業に取り組む中で新規入会者が微増した。若い世代の入会は進まない。

2 事業の実施に関する

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【234】千円)

事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	受益 対象者 人数	事業費 (千円)
講演会 ドイツ 児童文学	ドイツ児童文学の 名作の背景を知り、 ドイツの理解を 深める	令和5年 3月25日	江東区 文化センター ・講演会 ・オンライン	3人	15人	8
オクトーバー フェスト	日本文化紹介 (折り紙教室)	令和4年 10月8日	東京横浜独逸学園	—	—	—
体験留学生支援	体験留学生支援	未定	未定	—	—	—
ドイツ紹介	ドイツの クリスマスの紹介	令和4年 12月	オンライン企画 ハンブルク& 日本	—	—	—
料理講習会	食文化紹介 ドイツ料理 日本料理	令和5年 3月	渋谷区 文化総合センター 大和田 (オンライン企画)	—	—	—
クリスマス会	会員相互の親睦	令和4年 12月	ドイツ レストラン	—	—	—
新年会	会員・ドイツ関係 者・非会員との懇親 コンサート・講演等	令和5年 1月22日	日立目白クラブ	5人	38人	226
文化活動支援 (名義付与)	演奏会・美術展 その他文化活動 等の支援	令和4年 8月26日	市ヶ谷	2人	6人	0
シュタム ティッシュ	会員間の交流	原則毎月 1回 (土曜日)	マールツァイト	1人	3人	0
広報活動	ホームページの充実 (英語表記)	定期発信		3人	45人	0
日独交流	独日協会ハンブルク とのパートナーシッ プを充実させる	定期発行 メーリング	未定	3人	45人	0